

○学校の運営・指導について

質問項目	順位	肯定的	保護者	H29	児童	職員
教育目標に向かって指導をしている	19	96.3	3.31	(2.98)	(2.46)	3.30
清掃が行き届き、清潔である	17	87.4	3.23	3.25	3.21	2.55
児童たちが成長し達成感のある行事である	14	97.5	3.54	/	3.65	3.40
学校が楽しい	3	95.2	3.54	3.44	3.33	3.68

分析と今後の方策

今後もバランスのとれた教育を進めていくとともに、児童一人一人を大切にす指導を行っていききたい。

児童たちが「学校が楽しい」と感じていることは何よりであり、低学年ほど児童評価が高い。また、行事の運営については良い評価をいただいているので、学級生活においても楽しさを味わわせられるよう、仲間づくりと自己有用感を高める指導に心がけたい。

清掃・清潔については職員の評価が厳しく、児童も学年が進むほど評価が下がっている。教室の整理整頓とともに、毎日の清掃活動の向上を図るべく、児童会の活動の重点にも据えるなどして、指導と活動向上に努めていきたい。

○学習に関すること

	順位	肯定的	保護者	H29	児童	職員
学校はわかりやすい授業をしている	4	97.4	3.54	3.44	3.59	3.61
学校はきめ細かく授業をしている	11	94.2	3.31	3.28	3.56	3.53
お子さんは家庭学習にしっかり取り組んでいる	18	70.0	2.88	3.51	3.16	3.33
お子さんはよく本を読んでいる	22	40.6	2.35	2.43	2.93	3.55

分析と今後の方策

学習に関しては、保護者の関心が高い中、学校の指導に対しては、一定の評価を得ている。

家庭学習については、最重要課題である。学校では、計画、実施、点検、評価の過程を大切にし、家庭学習のさせ方を指導していく。自分で課題をにつける力をつけさせたい。

読書については、毎年の課題である。図書室の並設や読み聞かせの充実など昨年度と改善した点があるが、いまひとつである。日課に読書の時間を増やしたり、並行読書を取り入れたりするなど本に親しめる環境、読書量の啓発にかかる取組をさらに行っていききたい。

家庭学習や読書については、評価が低だけでなく、重要度が低いこと自体が課題であると考えるので、学校での取り組みだけでなく、児童に家庭学習をさせる意義や読書をすることの良さについて、積極的に家庭に啓発していききたい。

○児童の様子、児童への指導に関すること

	順位	肯定的	保護者	H29	児童	職員
不登校やいじめをなくす取組をしている	7	89.8	3.27	3.08	3.51	3.58
お子さんの相談などの話を聞いてくれている	9	89.1	3.34	3.12	3.29	3.79
あいさつがよくできている	5	88.8	3.28	3.06	3.49	2.95
時と場に応じた正しい言葉遣いができる	8	82.5	3.02	3.28	3.24	2.79
お子さんの学級はよくまとまっている	10	94.4	3.45	3.26	3.25	3.56
先生たちは一人一人を大切に、児童との関係は良好である	1	95.2	3.59	/	/	3.61

分析と今後の方策

児童、教員との信頼関係や生徒指導、教育相談の評価が昨年度より上まっていることは、児童一人一人に寄り添った指導ができていることだと考えられる。

教育相談に関しては、児童の悩みに寄り添えるよう、今年度からアンケート項目を増やしたことにより、児童の悩みを多面的に理解できたと考える。今後も、継続して行っていきたい。

「あいさつ」は、昨年度より保護者からの評価は高いが、学校としてはまだまだとらえている。まずは、児童の意識を変えなければならないと考えている。教職員からも積極的にあいさつを行いたい。また、「言葉遣い」については、低学年ほど評価が低い。テレビやゲーム等の影響を受けて、家庭や友だちに発していることや、「ただいま」「いただきます」などの家庭でかわす言葉に問題があると考えられる。さらに幅広い角度から、あいさつと言葉遣いの指導を行い、さわやかで活発な学校にしていきたい。

○保健・安全について

質問項目	順位	肯定的	保護者	H 2 9	児童	職員
登下校や学校生活で安全が確保されている	2	84.0	3.19	3.09	3.60	3.40
健康でたくましい体を育てる指導をしている	1 4	97.7	3.54	3.50	/	/
けがや体調不良の時の連絡や対応をしている	6	97.5	3.72	3.64	3.51	3.74

分析と今後の方策

登下校の安全に関しては、学区の特性を職員全員で認識し、今後とも地域や保護者の皆様からの協力をいただくとともに、校内での安全指導を積極的に進めていきたい。児童たちの評価が高いのは、このような環境づくり、指導による安心感であると考えられる。さらに、地域や保護者からの情報提供に俊敏に反応するとともに、下校時の交通ルール・モラルの向上に資する指導を進めたい。

全国学力状況調査では、6年生において朝食を食べていない児童及び同じ時間に就寝していない児童の割合が高いことが分かった。この点については、他学年でも実情を調査し、家庭への併発を図りたい。

疾病への対応は、高い評価をいただいているので、今後も継続してしていきたい。

○家庭や保護者との連携について

質問項目	順位	肯定的	保護者	H 2 9	児童	職員
P T A活動は学校と協力して行われている	2 4	98.6	3.53	3.54	/	3.63
学校だよりやHPで、様子を発信している	2 3	94.4	3.56	3.48	/	3.58
保護者や地域からの意見に耳を傾けている	2 1	92.4	3.27	3.29	/	3.58

分析と今後の方策

重要度は決して高くはないが、学校経営上、重要な位置を占めていると考えている。今年度から保護者会で学校からの願いを伝える場を設定した。学校からの発信だけでなく、保護者の声に耳を傾け、気持ちに寄り添っていけるよう、今後も丁寧に取り組んでいきたい。

○その他、いただいた意見について

子供の目線に合わせて耳を傾けていただき、一人一人を大切に思っていることが伝わってきます。	⇒	ありがとうございます。今後も「一人一人を大切にする学校」づくりを進める上で、児童の気持ちに寄り添って指導・支援をしてまいります。
あいさつができない児童が増えてきている。あいさつと明るく活気ある学校であってほしい。	⇒	あいさつは信頼関係を築く第一歩と考えます。先述した通り、取り組んでまいります。また日常の生活や活動の場面でも、解放感と信頼関係を構築することで、活力ある姿を出せるよう指導にあたってまいります。
土曜授業は、いろいろな児童のために、	⇒	算数では習熟度別にコースを分け、土曜サポートの講師

個別の対応をしてほしい。		を複数配置し、きめ細かな指導に努めています。一人一人の実情に合った学習となるよう、学習状況の把握と課題設定に努めてまいります。
歩道がなかったり薄暗かったり、通学路の安全確保がされているとは思えない。	⇒	情報提供をいただいた箇所は、市の方に対応をお願いしているところです。今後も危険と思われる場所があれば、情報提供をお願いします。